



遊具の安全点検～鉄棒～

校庭にある遊具は、気づかぬうちに壊れたり、風雨で劣化したりします。
子どもが楽しく安全に遊べるよう日々の点検が必要です。



6つの点検ポイント

押しでもぐらつかないか

高さは適切か 傾いていないか

握り棒は回らないか

他の遊具との空間はあるか

設置面は衝撃を吸収する素材か

石 や ガラス が 遊具の周りに落ちていないか



さらにチェック!!

握り棒部 接合部		ボルト孔の 摩耗・亀裂
握り棒部 握り棒		ボルト孔の 摩耗
支柱部 地中基部		基部の 腐食

日常点検表は、学校安全ウェブ※ 調査研究報告書の 142ページに掲載があります。印刷してご利用ください!!

必要に応じて、臨時にあるいは定期的に専門業者による点検の実施も有効と考えられます。

※「学校における固定遊具による事故防止対策」調査研究報告書より抜粋

遊具の安全点検～鉄棒～



事前にチェックし、改善していれば防げたと思われる事例・・・

- ① 前まわりをしていた時に手が滑り、地面に落下し、後頭部を落ちていた石で切ってしまった。(小1 女)
- ② 前方回転をして着地したところ、地面の砂利に釘が混じっていて、その釘が着地と同時に靴を貫通して左足底に刺さった。(高2 男)
- ③ 鉄棒を固定するボルトが緩んでいて鉄棒が落ちて、生徒も落下した。(高1 女)
- ④ 校庭で鉄棒をしていたときに、鉄棒がとても熱く、手を離してしまい、落ちて右肩を地面にぶつけた。(7月発生 小2 男)



教師のための遊具点検10か条

★ 日頃からの管理

- ① 点検は定期的・継続的・組織的に行っていますか。(毎日・毎週・毎月・毎年)
- ② 遊具の使用法、危険箇所を発見したときの対処方法、事故が起きた場合の対応はマニュアル化され、かつ共通理解が図られていますか。

★ 遊具の点検・対策

- ③ 設置面が固くなっていませんか。
- ④ ぐらつきや錆はありませんか。
- ⑤ 引っかかりや絡まりを起こす部分はありませんか。

- ⑥ けがをした児童・園児を救助するため、大人が入れるようになっていませんか。

★ 遊具の環境整備

- ⑦ 他の遊具との距離、周囲に十分な空間がありますか。
- ⑧ 見通しの良い場になっていませんか。
- ⑨ 遊具の周りに危険なものはありますか。(石、ガラス、木の根、地面の凸凹等)
- ⑩ 安全柵、落下防止柵はありますか。

※「学校における固定遊具による事故防止対策」調査研究報告書より抜粋